

函館市地域包括支援センター社協

(地域包括支援センター運営業務)

令和4年度（2022年度）活動評価

令和5年度（2023年度）活動計画

東部圏域



— 目 次 —

1. 圏域の現状と課題	・・・	1
2. 重点活動	・・・	4
3. 令和4年度活動評価および令和5年度活動計画		
ア 地域包括支援センターの運営	・・・	6
(ア) 総合相談支援業務	・・・	6
(イ) 権利擁護業務	・・・	12
(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・・・	16
(エ) 地域ケア会議推進事業	・・・	20
イ 生活支援体制整備事業	・・・	24
(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務	・・・	24
ウ 認知症総合支援事業	・・・	28

圏域の現状と課題

1. 人口の推計と年齢構成

(人, %)

	H30.3	H31.3	R2.3	R3.3	R4.3	R4.9	割合	全市
年少人口	801	769	724	670	614	589	5.9%	9.1%
生産年齢人口	5,787	5,492	5,135	4,862	4,599	4,513	44.9%	54.2%
高齢人口	5,171	5,182	5,166	5,073	5,003	4,954	49.3%	36.7%
(再) 65～74歳	2,353	2,344	2,380	2,372	2,327	2,286	22.7%	17.3%
(再) 75歳以上	2,818	2,838	2,786	2,701	2,676	2,668	26.5%	19.4%

2. 世帯構成 (R4.9)

(世帯, %)

	世帯数	割合	全市
高齢者単身世帯	1,778	32.5%	26.3%
高齢者複数世帯	1,019	18.6%	13.2%
その他	2,682	49.0%	60.6%

3. 事業対象者・要支援認定者の状況

(人, %)

	R3.9	R4.9	全市
認定者数	329	315	7,481
認定率	6.5%	6.4%	8.3%
給付実績	151	136	4,690
給付率	3.0%	2.7%	5.2%

4. 介護保険サービス事業所数 (R4.9)

(件)

	事業所数
居宅介護支援等 (※1)	7
地域密着型サービス (※2)	5

※1 居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護事業所の件数

※2 地域密着型サービス事業所（小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護を除く）の件数

5. 地域の現状・特徴

○人口減少・生産年齢人口の減少により地域の担い手が不足している。また、高齢化・人口減少により空き家も増加し、互助力が低下傾向となっている。

○地域性として、交通の便が悪く、公共交通機関に限りがあり、圏域内には眼科・整形外科・脳神経外科・精神科などの専門医療機関がないため、必要な医療を身近に受ける事ができない地域格差がある。

○外出・活動の場への参加について、移動手段が限られていることや移動距離が広いこと、参加しにくい状況である。

1) 医療機関数

(件)

	戸井	恵山	椴法華	南茅部	合計
医科	1	1	1	2	5
歯科	1	1	0	2	4
薬局	1	1	1	2	5

(送迎対応)

- ①杉山クリニック (送迎なし)
- ②恵山病院 (送迎あり)
- ③椴法華クリニック (送迎あり)
- ④南茅部病院 (送迎あり)
- ⑤坂口内科クリニック (送迎あり)

2) 介護保険事業所

(件)

在宅系	戸井	恵山	椴法華	南茅部	合計
居宅介護	0	1	1	1	3
訪問介護	0	0	0	1	1
通所介護	1	1	1	1	4
短期入所	1	1	0	1	3
訪問入浴	0	0	0	1	1
小多機	2	0	0	1	3
看護小多機	0	1	0	0	1

(診療科)

- ①杉山クリニック
内科・消化器科
- ②恵山病院
内科・外科
整形外科 (月2回、木曜日) おおむら整形
眼科 (月1回、月曜日) 市立函館病院
- ③椴法華クリニック
腎臓内科・整形外科
外科・消化器・皮膚・糖尿病・呼吸器・循環器

(件)

入所系	戸井	恵山	楳法華	南茅部	合計
サ高住	2	1	0	0	3
GH	1	1	0	1	3
特養	1	1	0	1	3
介護付有料	0	0	1	0	1

④南茅部病院

内科・外科
整形外科(第4 金曜日)
眼科(第4 水曜日)

⑤坂口内科クリニック
内科

※圏域の小規模多機能型居宅介護事業所は、通所、泊まりのサービス提供は行っているが、職員不足により訪問サービスが実施できていない状況で事業所の機能が果たせていない。

本来、サービスを利用することで在宅生活の限界点が高まることが期待されるが、十分な効果が期待できない状況にある。

3) 公共交通機関運行状況(一部路線の全時刻表を全抜粋)

楳法華支所発日ノ浜団地行	
1	10:22
2	14:44
3	18:24

日ノ浜団地発函館BC行	
1	06:19
2	08:37
3	10:35
4	12:59
5	14:57
6	16:22
7	17:56
8	18:42

南茅部支所発函館BC行	
1	07:10
2	08:18
3	11:40
4	13:55
5	16:09
6	17:53

日ノ浜団地発楳法華支所行	
1	10:46
2	13:00
3	15:01
4	18:04

※南茅部タクシー(令和元年10月31日 営業終了)

※第一交通タクシー(令和2年12月1日 運用開始)

運行業者:株式会社ことぶき第一交通、美咲第一交通株式会社

8:00~17:00までは、南茅部病院周辺に常時2台待機して対応。

4) 食品等を扱う店舗(本格的に営業している商店のみ)

(件)

通所型	戸井	恵山	楳法華	南茅部	合計
路面店	3	1	2	2	8
移動車	2	3	2	1	8
コンビニ	1	2	0	3	6
中型店舗	0	1	0	2	3

(戸井:宇美商店、滝山田商店、加藤商店)

(楳法華:小林商店、福永商店)

※生協かける便を除く

(函館牛乳・八百屋・ダイシメ・モロイ等)

※サツドラ、イエローグローブ、ニコット等

※大型店舗がなく、衣料・雑貨等の購入が困難。

※生協のとどっくを利用して食料品を購入している方もいるが、購入手続き等を行えない方も多い。

※移動販売で食品を購入するため、購入食材が限られ、惣菜を購入して食べる傾向がある。

5) 生協かける便(移動販売車)運行状況

出発店舗	運行曜日	運行地域
山の手店	火・木・土	函館市恵山町釜谷方面
山の手店	水・金	函館市戸井町原木・弁才方面
山の手店	火・金	函館市汐首方面
山の手店	水・土	函館市瀬田来・原木方面
湯川店	火・木・土	函館市楳法華方面
湯川店	水・金	函館市女那川・日の浜方面
旭岡店	火・木・土	函館市古部町・木直・楳法華町方面
旭岡店	水・土	函館市川汲町・尾札部町方面
旭岡店	火・木・土	函館市川汲町・大船町方面
旭岡店	水・土	函館市川汲町・鹿部町方面
ひとみ店	火・木・土	函館市恵山町御崎方面
ひとみ店	水・金	函館市恵山町古武井方面

6. 日常生活圏域レベルの地域課題の整理に基づく地域課題

優先順位	地域の問題	問題が生じている要因	地域課題
1	精神障害者を含む家族でSOSを発信できずに問題が複雑化している世帯が増加している	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯単位で問題の重複や複雑化 ・問題意識がない世帯や孤立している家庭がある ・周りに知られたくない(家族内で解決しようとする) ・関係機関と連携ができていない(問題の共有が必要) ・表面化したときには、問題が切迫している ・行政機関に相談があっても必要な機関に繋がっていない 	地域住民が異変に気づき相談機関に繋げる事ができる
2	必要なサービスを受けることができず、在宅生活の継続が困難な高齢者が増えている	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス事業所が参入しにくい ・介護従事者を確保できない ・外国人労働者を雇うことが困難 ・必要なサービスを調整できない(デイサービスの利用回数、ヘルパー利用調整) ・家族が遠方で支援できず、早めに施設入所となる ・家族が漁業をしていると繁忙期支援ができない 	元気高齢者が支援が必要な高齢者を支えることができる
	地域活動の担い手不足で暮らしの困りごとに対応できなくなっている	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の支援が受けられない ・互助力の低下(若い世代の意識低下) ・煩わしい、個人主義 ・親戚関係のトラブル ・近所付き合いが希薄で空き家が多い ・若い世代の取り込みが困難でアプローチが難しい 	
3	買い物・病院受診・手続きのための移動が行えない(移動手段の確保)	<ul style="list-style-type: none"> ・検討する機会がない。 ・町会などの役員は車を運転できる方が行っており、移動が困難な方へ目が行き届いていない。 ・免許の返納を行った方がよい年代となっても、移動が困難となるため、継続して運転を行っている。 	移動の困難さについて地域住民が声を出し検討することができる
4	放置空き家に伴う老朽化による倒壊・景観の悪化、放火、不審者による治安悪化(空き家問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活が困窮し生活保護を受給する方が多くなっている。 ・漁業関係で自営業者が多く、将来について考えられていない。 ・家族間が疎遠で協力を得られない状況が多くなっている。 ・核家族化による支援者の協力不足、家族の財力不足 	適切な住宅管理について理解し意識することができる

7. そのほか地域の現状やニーズに基づく地域課題

- ・東部圏域内クリニック医師の高齢化により、地域医療の低下が懸念される。
- ・空き家が多くなってきており、倒壊の恐れがある。捨て猫なども多くなってきていることで、不衛生で近隣トラブルが懸念される。
- ・若い世代が住める環境となっていない。

重点活動

番号	地域課題	各業務での取組
1	地域住民が異変に気づき相談機関に繋げる事ができる	①地域包括支援センターについて出前講座や広報紙による広報啓発を実施 ②地域住民が異変に気づくことができるよう出前講座や広報紙による広報啓発を実施 ③関係機関とのネットワーク構築（事例検討会）、連携強化
2	元気高齢者が支援が必要な高齢者を支えることができる	①見守りや支え合いについて出前講座や広報紙による広報啓発を実施 ②地域課題地域ケア会議を活用し、住民ニーズの把握を実施
3	移動の困難さについて地域住民が声を出し検討することができる	①地域課題の検討を行う地域ケア会議、協議体の開催 ②アンケート実施し、地域ケア会議、協議体等で検討 ③函館市東部地域まちづくり懇談会への要望
4	適切な住宅管理について理解し意識することができる	①住宅の管理等について広報啓発や市担当課による講話の実施 ②自立相談支援機関についての広報啓発 ③財産管理等について広報啓発や法テラスによる講話の実施

令和4年度活動評価および令和5年度活動計画

ア 地域包括支援センターの運営

(ア) 総合相談支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第1号

【目的】地域の高齢者等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげる等の支援を行う。

事業内容	令和4年度 活動評価					
	実績（実施回数、内容、実施方法等）		活動目標に対する評価			
総合相談	○利用者基本情報作成状況					
	(件, 人, %)					
		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	
	目標数値	537	502	458	458	
	作成数	予防給付	48	49	50	50
		(再)新規	1	0	1	1
		見守り	29	49	13	26
		(再)新規	19	12	6	18
		その他	416	376	324	419
		(再)新規	121	107	79	99
	合計(A)	493	474	387	495	
	(再)新規	141	119	86	118	
	高齢者人口(B)	5,073	5,003	4,954	4,954	
	実態把握率 (A/B)	9.7%	9.5%	7.8%	10.0%	
	<small>※R4年度は推計値</small>					
○総合相談対応件数						
(件)						
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度		
実件数	795	655	595	740		
延件数	1,008	815	689	847		
戸井地区	249	282	245	296		
	25%	35%	36%	35%		
	恵山地区	335	256	182	224	
		33%	31%	26%	27%	
椴法華地区	106	70	62	74		
	11%	9%	9%	9%		
南茅部地区	317	204	197	248		
	31%	25%	29%	29%		
<small>※R4年度は推計値</small>						
○相談形態内訳 (延)						
(件)						
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度		
電話相談	667	241	176	240		
来所相談	91	61	47	65		
訪問相談	862	511	464	538		
その他	26	2	2	4		
<small>※R4年度は推計値</small>						
○新規広報啓発先						
・戸井学園、恵山中学校、えさん小学校、椴法華小学校、椴法華中学校、南茅部小学校、白尻中学校、尾札部中学校、南茅部高校						
○栄養教室実績						
(日時) 令和5年2月8日(水) 10:00~12:30						
(場所) 戸井西部総合センター						
(参加者) 16名						
(テーマ) 乳和食による減塩、カルシウムの摂取						
		【活動目標】				
		・地域住民が異変に気づき相談機関に繋がることができる。				
		【評価】				
		・計画していた広報紙の全戸配布、包括支援センター定例ミーティングの実施や広報紙の新規配布(学校)への配布が行え、計画に沿って実施できた。総合相談件数については、R3年度の実績以上で推移する見込みであり、相談者の続柄では、町会関係者、近隣住民、民間企業からの相談が微増しており、広報啓発活動の効果も見込まれ、目標に対して一部達成できたと評価する。地域住民が異変に気づき相談機関に繋がるためには、本人・家族以外からの相談を増やす必要があるため、次年度も同様の目標として広報紙の配布先を新たに増やす取り組みを計画することとしたい。				
		【活動目標】				
		・高齢者が健康管理や適切な受診行動をすることができる。				
		【評価】				
		・自主活動グループや老人クラブへ【介護予防9回、包括支援センター13回、在宅高齢者等サービス15回】の広報啓発を実施した。健康チェックの際、病院受診が必要な方へ指導し受診につながっていることから目標は達成できたと評価する。ただし、関わっている方は圏域の一部の方であり継続することが必要であるため、同様の目標としたい。				

令和5年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・地域住民が異変に気づき相談機関に繋げることができる。</p> <p>・高齢者が健康管理や適切な受診行動をすることができる。</p>	<p>(相談体制の維持・強化)</p> <p>○包括支援センター（以下「センター」という。）が実施する出前講座のほか、社会福祉協議会（以下「社協」という。）各支所が実施する事業および老人クラブ等の場を活用し、新規相談に結び付ける。</p> <p>○センターが気軽に相談できる窓口であることを周知。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の全戸配布、年1回。 ※戸井地区：約1,030世帯、恵山地区：約1,500世帯 楸法華地区：約400世帯、南茅部地区：約2,300世帯 <p>○関係機関への広報紙の配布。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規配布先としてコンビニエンスストアへ設置の協力依頼。 <p>○クリニックとセンターとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士部会で作成したリーフレットを使用し配布・説明。 <p>(職員のスキルアップ・ブランチとの連携)</p> <p>○センター定例ミーティングの開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター職員とブランチ職員の連携の強化継続として実施。 ・情報共有を定期的に行うことで職員の知識や判断について意識統一を図る。 <p>○自主活動グループや老人クラブ団体への広報啓発を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の必要性について広報・啓発 ・健康診断の受診や病院受診の必要性について広報・啓発 ・東部外出支援サービスについての広報・啓発 ・戸井地区外出支援サービスについての広報・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報の作成数 ・相談対応件数 ・相談者の続柄 ・相談形態内訳 ・広報紙の発行 ・新規広報紙配布機関 ・地区別相談件数 <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座回数 ・広報啓発回数 ・自主活動支援回数

(7) 総合相談支援業務

事業内容	令和4年度 活動評価	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
総合相談	<p>○栄養教室実績 (日時) 令和5年2月8日(水) 10:00~12:30 (場所) 戸井西部総合センター (参加者) 16名 (テーマ) 乳和食による減塩、カルシウムの摂取 (参加者の内訳) ・前期高齢者 11名 ・後期高齢者 5名</p>	<p>【活動目標】 ・前期高齢者が自分の食生活の問題に気づくことができる。</p> <p>【評価】 ・新型コロナの影響で実施することが困難であったが、感染状況を確認しながら参加者の意向も確認し実施することができた。調理実習を交えて減塩やカルシウム摂取の大切さについて管理栄養士より説明等を行っていただいたが、参加者より日頃の生活に取り組んでみたいとの声も聞かれ、自身の食生活の問題に気づききっかけとなったと評価する。目標については、戸井地区の住民向けに実施しており、担当圏域をカバーできていないことから一部達成したと評価する。戸井地区住民については、継続して実施してほしい意向があり、他地域への取り組みが不十分であることから、次年度も同様の目標とし、取り組み地域を増やす計画としたい。</p>

令和5年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・前期高齢者が自分の食生活の問題に気づくことができる。</p>	<p>○高齢者が食生活の問題に気づけるよう栄養教室を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸井地区元気ハツラツ料理教室（年2回開催） ・各自主グループや関係団体等と検討を行い実施する。 <p>※今年度については、恵山地区を中心に実施検討を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教室の開催回数 ・前期高齢者参加者数

(7) 総合相談支援業務

事業内容	令和4年度 活動評価																																																																					
	実績（実施回数、内容、実施方法等）				活動目標に対する評価																																																																	
ネットワーク構築	○相談者の続柄内訳（延・重複あり） (件)				<p>【活動目標】</p> <p>・連携会議等を通して、関係機関との連携の継続、地域密着型事業所との連携を強化し早期対応が行える。</p> <p>【評価】</p> <p>・保健医療福祉連携会議（以下「連携会議」という。）については、新型コロナウイルス感染拡大により令和3年度は開催を自粛していたところであるが、令和4年度においては、これまでと同等程度まで開催することができ、警察・消防署職員からの相談も一定程度入るようになった、また、榎法華地区の連携会議においては、東消防署日ノ浜出張所より新たに参加したいと打診があり、連携会議を通じた関係機関との連携強化ができ、早期の対応が行えたと評価する。また、地域密着型事業所との連携強化については、地域密着型運営推進会議（以下「運営推進会議」という。）への出席を通して早期相談への周知や意見交換の機会を設けることとしていたが、新型コロナウイルスの影響で介護事業所の運営上、事業所以外での会議を自粛する対応がとられていたため、積極的な意見交換を実施することができなかった。行政支所市民福祉課との意見交換については、戸井支所と数回実施できたが、職員の移動で担当者の変更となるため、引き続き意見交換や連携会議の場で連携強化を実施していく必要がある。上記内容から連携会議や運営推進会議を通じた連携強化、早期対応が行え、目標は一部達成したと評価する。地域密着型事業所との連携強化についての取り組みが不足していたことから連携会議等を通して関係機関との連携の継続、地域密着型事業所との連携が行え、新規相談に結び付ける事ができるを目標にすることとしたい。</p>																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人</td> <td>459</td> <td>344</td> <td>357</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>家族親族</td> <td>218</td> <td>250</td> <td>214</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>17</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>町会・在宅福祉委員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>知人・近隣住民</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>96</td> <td>65</td> <td>39</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>介護保険事業所職員</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>医療機関職員</td> <td>47</td> <td>54</td> <td>24</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>行政機関職員</td> <td>37</td> <td>44</td> <td>16</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>警察・消防署職員</td> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>民間企業</td> <td></td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>112</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p>						R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	本人	459	344	357	390	家族親族	218	250	214	253	民生委員	31	32	17	20	町会・在宅福祉委員	0	0	3	3	知人・近隣住民	7	8	9	10	介護支援専門員	96	65	39	46	介護保険事業所職員	2	15	8	9	医療機関職員	47	54	24	31	行政機関職員	37	44	16	22	警察・消防署職員		4	3	4	民間企業		0	3	4	その他	112	8	10	16
		R2年度	R3年度	R4.12末		R4年度																																																																
	本人	459	344	357		390																																																																
	家族親族	218	250	214		253																																																																
	民生委員	31	32	17		20																																																																
	町会・在宅福祉委員	0	0	3		3																																																																
	知人・近隣住民	7	8	9		10																																																																
	介護支援専門員	96	65	39		46																																																																
	介護保険事業所職員	2	15	8		9																																																																
	医療機関職員	47	54	24		31																																																																
	行政機関職員	37	44	16		22																																																																
	警察・消防署職員		4	3		4																																																																
	民間企業		0	3		4																																																																
	その他	112	8	10		16																																																																
○相談内容内訳（延・重複あり） (件)																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険・総合事業</td> <td>440</td> <td>406</td> <td>262</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>保健福祉サービス</td> <td>500</td> <td>340</td> <td>229</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>介護予防</td> <td>35</td> <td>16</td> <td>21</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>心身の健康</td> <td>11</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>認知症</td> <td>17</td> <td>35</td> <td>11</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>住まい</td> <td>20</td> <td>34</td> <td>7</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>権利擁護</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>安否確認</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p>					R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	介護保険・総合事業	440	406	262	345	保健福祉サービス	500	340	229	277	介護予防	35	16	21	31	心身の健康	11	30	20	30	認知症	17	35	11	25	住まい	20	34	7	19	権利擁護	2	3	2	14	安否確認	0	0	3	8	その他	13	11	11	4																	
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																																																																		
介護保険・総合事業	440	406	262	345																																																																		
保健福祉サービス	500	340	229	277																																																																		
介護予防	35	16	21	31																																																																		
心身の健康	11	30	20	30																																																																		
認知症	17	35	11	25																																																																		
住まい	20	34	7	19																																																																		
権利擁護	2	3	2	14																																																																		
安否確認	0	0	3	8																																																																		
その他	13	11	11	4																																																																		
○利用調整内訳（サービス種別） (件)																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活援助員派遣</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>外出支援サービス</td> <td>285</td> <td>120</td> <td>110</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>除排雪サービス</td> <td>61</td> <td>68</td> <td>59</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>ショートステイサービス</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緊急通報システム</td> <td>41</td> <td>39</td> <td>21</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p>					R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	生活援助員派遣	8	5	8	8	外出支援サービス	285	120	110	115	除排雪サービス	61	68	59	67	ショートステイサービス	11	7	2	2	緊急通報システム	41	39	21	29																																					
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																																																																		
生活援助員派遣	8	5	8	8																																																																		
外出支援サービス	285	120	110	115																																																																		
除排雪サービス	61	68	59	67																																																																		
ショートステイサービス	11	7	2	2																																																																		
緊急通報システム	41	39	21	29																																																																		
○広報啓発活動 (回)																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報紙の発行</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>パンフレット等の配布</td> <td>36</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>出前講座・講師派遣</td> <td>28</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p>					R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	広報紙の発行	2	2	1	2	パンフレット等の配布	36	11	16	25	出前講座・講師派遣	28	7	13	19																																															
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																																																																		
広報紙の発行	2	2	1	2																																																																		
パンフレット等の配布	36	11	16	25																																																																		
出前講座・講師派遣	28	7	13	19																																																																		
○ネットワーク構築																																																																						
①保健医療福祉連携会議開催回数 (回)																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸井地区</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>恵山地区</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>榎法華地区</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>南茅部地区</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p>					R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	戸井地区	4	5	5	6	恵山地区	4	3	5	6	榎法華地区	3	2	2	3	南茅部地区	3	4	3	4																																										
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																																																																		
戸井地区	4	5	5	6																																																																		
恵山地区	4	3	5	6																																																																		
榎法華地区	3	2	2	3																																																																		
南茅部地区	3	4	3	4																																																																		
②地域密着型サービス運営推進会議																																																																						
<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームさらさの杜：書面開催5回 ・小規模多機能あいある小安：書面開催2回、開催3回 ・小規模多機能潮太郎：書面開催2回、開催2回 																																																																						

令和5年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・連携会議等を通して関係機関との連携の継続、地域密着型事業所との連携が行え、新規相談に結び付ける事ができる。</p>	<p>○連携会議の開催。 ※隔月開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶数月～戸井地区（クリニック、薬局、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所） ・偶数月～恵山地区（恵山病院、消防署、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所） ・奇数月～椴法華地区（クリニック、消防署、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所） ・奇数月～南茅部地区（南茅部病院、薬局2か所、駐在所、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所） <p>○広報紙の配布（設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵便局：11か所 ・漁業協同組合：11か所 ・金融機関：1か所 ・消防署：3か所 ・駐在所：8か所 ・病院：2か所 クリニック：3か所 ・歯科：5か所 薬局：5か所 ・学校：戸井学園、えさん小学校、恵山中学校、椴法華小学校、椴法華中学校、南茅部小学校、南茅部中学校、南茅部高校 <p>上記以外で新たな設置場所について検討。（コンビニエンスストア等）</p> <p>○民生児童委員協議会定例会、在宅福祉委員会との意見交換を継続的に実施する。</p> <p>○見守りネットワーク事業の実施の際に、民生児童委員（以下「民生委員」という。）との情報共有を密にし、対象世帯の実態把握を実施する。</p> <p>○地域密着型運営推進会議への出席を通して、センターへの早期相談のメリットや相談のタイミングの共有を図る。 また、運営推進会議の開催が困難な場合、意見交換の機会を設け連携を図る。</p> <p>○行政支所市民福祉課との意見交換の機会を設け連携を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者の続柄 ・相談内容 ・利用調整 ・広報啓発活動 ・ネットワーク構築

(イ) 権利擁護業務

【根拠法令】 介護保険法第115条の45第2項第2号

【目的】 高齢者等が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者等の権利擁護のため、必要な支援を行う。

事業内容	令和4年度 活動評価																																																												
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																																											
権利擁護相談 （高齢者虐待・困難事例への対応、 成年後見制度の利用促進・消費者被害の防止に関する 対応）	○権利擁護相談対応状況	【活動目標】 ・地域住民や関係機関が早期に相談することができる。																																																											
	・対応件数 (件、回)	【評価】 ・連携会議を通し医療従事者や薬局から相談が入ることにより支援につながる事ができた。また、警察との連携を通し情報提供、収集する機会が増えたこと、個別ケース会議への出席により、より一層顔の見える関係を構築し目標を達成できた。																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケース数（実）</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>（再）医療と連携あり</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>対応回数（延）</td> <td>361</td> <td>299</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	ケース数（実）	12	16	10	14	（再）医療と連携あり	7	7	6	9	対応回数（延）	361	299			・権利擁護ケースの要因として個人的要因（認知症による判断能力の低下、専門医未受診、疾病・依存症による急激なADLの低下）によるもの、社会的要因(家族の問題、家族自身に疾病や障がいがあり家族自身に支援が必要)によるものが多く見られ世帯としての複合的な課題が散見され、自立相談支援担当、障がい関係機関等の他機関と連携し支援に携わることができた。																																							
		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																																																								
	ケース数（実）	12	16	10	14																																																								
	（再）医療と連携あり	7	7	6	9																																																								
	対応回数（延）	361	299																																																										
	※R4年度は推計値																																																												
	・対応事案内訳（実・重複あり） (件)	・圏域内での権利擁護に係る多職種事例検討会を開催し各関係機関と連携していることで相談の遅いケースがなく比較的早期に相談が入っている事から目標が達成されたと考える。																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者虐待</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>終結数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>終結率</td> <td>0%</td> <td>50.0%</td> <td>0.0%</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>セルフネグレクト</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>成年後見等</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>困難事例</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	高齢者虐待	5	2	1	3	終結数	0	1	0	1	終結率	0%	50.0%	0.0%	33.3%	セルフネグレクト	0	0	0	0	成年後見等	0	0	0	0	消費者被害	0	1	0	0	困難事例	5	12	9	11	その他	4	0	0	0	・身寄りが無い、キーパーソンとなる親族が不在、家族との関係が不良など複数の問題を抱えている世帯が増えている傾向にあり、潜在的に埋もれているケースも見込まれるため、今後も地域住民や関係機関への周知、各関係機関との連携を必要とする。														
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																																																									
高齢者虐待	5	2	1	3																																																									
終結数	0	1	0	1																																																									
終結率	0%	50.0%	0.0%	33.3%																																																									
セルフネグレクト	0	0	0	0																																																									
成年後見等	0	0	0	0																																																									
消費者被害	0	1	0	0																																																									
困難事例	5	12	9	11																																																									
その他	4	0	0	0																																																									
※R4年度は推計値																																																													
・相談者・通報者 (人)	・今年度は近隣住民、知人や民生委員からの相談がなかったため、次年度の目標としては、引き続き地域住民や関係機関が早期に相談することができるよう連携強化し情報共有を図る必要がある。																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>近隣住民・知人</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>本人</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>家族・親族</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>警察・消防</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療機関従事者</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>民間企業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	介護支援専門員	2	2	2	2	介護サービス事業所	2	2	0	0	近隣住民・知人	1	0	0	0	民生委員	0	0	0	0	本人	1	0	0	1	家族・親族	5	10	2	4	行政	1	4	0	1	警察・消防	2	0	1	1	医療機関従事者	5	8	2	2	民間企業	0	0	2	2	その他	1	3	1	1	
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																																																									
介護支援専門員	2	2	2	2																																																									
介護サービス事業所	2	2	0	0																																																									
近隣住民・知人	1	0	0	0																																																									
民生委員	0	0	0	0																																																									
本人	1	0	0	1																																																									
家族・親族	5	10	2	4																																																									
行政	1	4	0	1																																																									
警察・消防	2	0	1	1																																																									
医療機関従事者	5	8	2	2																																																									
民間企業	0	0	2	2																																																									
その他	1	3	1	1																																																									
※R4年度は推計値																																																													
○医療機関とのネットワーク構築																																																													
① 個別ケース支援連携数 6件																																																													
② ネットワーク構築方法 ・連携会議の開催 ・個別地域ケア会議への招集 ・個別ケース支援での連携																																																													
③ 連携およびネットワーク構築機関																																																													
<table border="0"> <tr> <td>杉山クリニック</td> <td>楯法華駐在所</td> </tr> <tr> <td>市立函館南茅部病院</td> <td>ばすてる</td> </tr> <tr> <td>坂口内科クリニック</td> <td>障がい相談支援事業所</td> </tr> <tr> <td>樺田恵山歯科クリニック</td> <td>市立函館恵山病院</td> </tr> <tr> <td>恵山西駐在所</td> <td>楯法華クリニック</td> </tr> <tr> <td>恵山駐在所</td> <td>戸井歯科診療所</td> </tr> <tr> <td>戸井駐在所</td> <td>戸井郵便局</td> </tr> <tr> <td>川汲駐在所</td> <td>市東消防署日ノ浜出張所</td> </tr> <tr> <td>尾札部駐在所</td> <td>レインボー薬局恵山店</td> </tr> </table>	杉山クリニック	楯法華駐在所	市立函館南茅部病院	ばすてる	坂口内科クリニック	障がい相談支援事業所	樺田恵山歯科クリニック	市立函館恵山病院	恵山西駐在所	楯法華クリニック	恵山駐在所	戸井歯科診療所	戸井駐在所	戸井郵便局	川汲駐在所	市東消防署日ノ浜出張所	尾札部駐在所	レインボー薬局恵山店																																											
杉山クリニック	楯法華駐在所																																																												
市立函館南茅部病院	ばすてる																																																												
坂口内科クリニック	障がい相談支援事業所																																																												
樺田恵山歯科クリニック	市立函館恵山病院																																																												
恵山西駐在所	楯法華クリニック																																																												
恵山駐在所	戸井歯科診療所																																																												
戸井駐在所	戸井郵便局																																																												
川汲駐在所	市東消防署日ノ浜出張所																																																												
尾札部駐在所	レインボー薬局恵山店																																																												

令和5年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・地域住民や関係機関が早期に相談することができる。</p>	<p>○権利擁護業務に関する出前講座を開催することで、相談窓口としての周知を図り、軽微な事例であっても気軽に相談できる意識付けを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護をテーマにした出前講座を開催する。 ・民生児童委員協議会定例会の場を活用した周知を行う。 ・社協各支所の事業開催時にパンフレットを配布する。 <p>○医療機関へセンターの役割の周知を継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の発行及び医療機関への配布依頼を継続する。 <p>○連携会議を継続して開催し対応についてのフィードバックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン、老人クラブでの出前講座を開催する。 ・広報紙に権利擁護についての記事を掲載する。 <p>○ネットワークが構築されている圏域内の各医療機関から、連携会議等の開催などを通して、支援が必要な高齢者の情報を早期に把握する。</p> <p>○クリニックとセンターとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士部会で作成したリーフレットを使用し、配布・説明。 <p>○成年後見センター、消費生活センター、警察等関係機関からの情報を活用し、常に新しい情報を提供することを意識して出前講座を実施する。</p> <p>○老人クラブやサロンなど様々な場を利用して、多くの地域住民に地域の見守りの重要性について、繰り返し普及啓発を行う。</p> <p>○広報紙に権利侵害についての記事を掲載し、各種事業で配布するとともに、幅広い層の住民が入手できるよう、年1回全戸配布する。</p> <p>○圏域内の関係機関との事例検討会を開催し、関係機関との連携強化を図る。</p> <p>○市各支所との意見交換の場を設け、相談内容等の共有を図り、相談内容に応じた連携方法を検討し連携強化を図る。</p>	<p>○権利擁護相談対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数 ・対応事案内訳 ・相談、対応者内訳 <p>○高齢者虐待対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通報件数 ・通報者内訳 ・虐待実件数 ・虐待対応件数(実) ・終結件数(実) ・個別ケース連携数 ・ネットワーク構築方法 ・ネットワーク構築機関 ・高齢者虐待通報者内訳 ・権利擁護にかかる広報啓発回数 ・高齢者虐待、消費者被害、成年後見制度 ・出前講座、講師派遣の依頼機関

(イ) 権利擁護業務

事業内容	令和4年度 活動評価																									
	実績（実施回数、内容、実施方法等）				活動目標に対する評価																					
権利擁護業務に関するネットワーク構築 センター内スキルアップ対策	○高齢者虐待等に関する研修会や事例検討会の開催 （回、件、人）				【活動目標】 ・継続して全職種にて権利擁護のスキルアップを図ることができる。 【評価】 ・高齢者虐待についての研修会を事例を踏まえ開催した。函館市高齢者虐待対応支援マニュアルを基に通報から事実確認までの流れを確認、虐待・虐待疑いが見受けられた場合にはセンターへ通報いただけるよう周知を図った。 ・関係機関との事例検討会を開催し、連携の強化を図ることを目的とし課題の抽出、世帯への介入方法や病院との連携方法等適切な支援に結びつけるための意見交換を行った。意見交換を実施することにより関係機関からの助言等あり支援の方向性を確認することができた。 ・権利擁護に係る出前講座は、少なかったが広報紙への掲載、リーフレット配布にて周知を行った。 ・オンライン開催での高齢者虐待に関する研修及び権利擁護ケースに関する研修に参加することにより必要な知識の向上に努めることができたと考える。 ・昨年に引き続き権利擁護ケースについて、自立相談支援担当含めセンター内部にてジェノグラムやエコマップを用いて可視化し情報を共有、情報不足の確認や問題を明確化することにより適切な支援につなげることができ、目標は達成できたと評価する。ただし、今後も自立相談支援担当を含め全職種が協力して対応できる体制を継続することが必要であることから来年度についても継続してスキルアップを図ることができる取り組みを実施したい。 ・朝のミーティングにてケースの進捗状況を報告することにより切れ目のない支援を行えるよう継続する。 ・自立相談支援担当との協働での支援が増える傾向があり、スキルアップを図るためセンター内部にて成年後見制度等を中心にスキルアップを図る必要がある。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>3</td> <td>0(1)</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>参加機関(実)</td> <td>18</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>参加者数(延)</td> <td>27</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度		R4.12末	R4年度	開催回数	3	0(1)	1	2	参加機関(実)	18	5	6	13	参加者数(延)	27	11	12	23				
		R2年度	R3年度	R4.12末		R4年度																				
	開催回数	3	0(1)	1		2																				
	参加機関(実)	18	5	6		13																				
	参加者数(延)	27	11	12		23																				
	※R4年度は推計値																									
	【内容】 ・ 高齢者虐待研修会 戸井圏域 日時：令和4年6月9日 内容：経済的虐待の疑いのあるケースを通して通報から事実確認までの流れを確認 ・ 事例検討会 南茅部圏域 日時：令和5年1月11日 内容：薬局からの事例提供を受け介入拒否の事例を検討 戸井圏域 日時：令和5年2月9日 内容：包括より親子2人世帯の事例を検討																									
	○ 高齢者虐待等に関する研修会及び事例検討会への参加 ・ 令和4年9月5日 法人後見実施のための研修会 「法人後見受任の取組みと課題について」 ・ 令和4年11月28日 成年後見事例検討会 「任意後見 財産管理委任契約～任意代理契約の問題点について」 ・ 令和5年1月16日 地域包括支援センター職員課題別研修 「複合的な課題を抱える世帯の支援」 ・ 令和5年1月24日 高齢者虐待対応研修 「高齢者虐待対応における初動期段階について」 ・ 令和5年3月1日 函館市高齢者・障がい者虐待防止講演会 「虐待サインに気づいた場合の通報手段～過去の事例から考える」 ・ 令和5年3月24日 自己評価シート研修 地域包括支援センターにおける社会福祉士の実践とその振り返りの大切さ																									
	○ 困難事例についてのケースカンファレンス 9件																									
○ 権利擁護業務にかかる広報・啓発活動 ・ 実施回数 (回)																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者虐待</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>成年後見</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	高齢者虐待	0	8	4	4	成年後見	0	5	9	11	消費者被害	1	0	11	21						
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																						
高齢者虐待	0	8	4	4																						
成年後見	0	5	9	11																						
消費者被害	1	0	11	21																						
※R4年度は推計値																										
・ 出前講座・講師派遣の依頼機関 榎法華ふれあいサロン																										

令和5年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・継続して全職種にて権利擁護のスキルアップを図ることができる。</p>	<p>○権利擁護に関する職員の対応力の維持向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護に関する研修会に参加する。 ・全職種で情報共有を図るとともにケース検討を行う。 (アセスメント、課題の抽出・分析を共有しながら支援の視点を養い、常に問題を共有する場を持ち、ケースの振り返りを行う) ・包括内部での権利擁護(成年後見制度等)に関する研修会を開催する。 <p>○権利擁護相談の内容によって、適切な関係機関と連携し支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見センターとの連携 ・消費者センターとの連携 ・法テラスとの連携 ・行政、障がい分野などの関係機関との連携 ・問題が複雑化しているケースに対し、必要な機関とのつながりを意識する。 ・必要時は他機関を含めた個別地域ケア会議やカンファレンスを取り入れるよう意識する。 <p>○高齢者虐待や困難ケースについては、センター内ミーティングやケースカンファレンスを通して支援状況や方向性を確認し、アセスメントの強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待、困難事例成年後見制度、消費者被害に関すること ・研修会や事例研修会の開催回数と参加機関参加者 ・研修会や事例研修会の参加回数

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第3号

【目的】高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくための地域における多職種相互の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行う。

事業内容	令和4年度 活動評価				
	実績（実施回数、内容、実施方法等）				活動目標に対する評価
介護支援専門員に対する個別支援	○介護支援専門員への個別支援状況（実）				
		(件)			
		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度
	ケース数	2	2	1	1
	最終数	2	2	1	1
	最終率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		※R4年度は推計値			
	・相談者（重複あり）				
		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度
	ケアマネ	1	1	1	1
	本人	0	0	0	0
	家族	1	1	0	0
	行政	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
		※R4年度は推計値			
・支援内容					
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	
情報提供	0	0	1	1	
支援方針助言	1	1	1	1	
計画作成助言	0	0	0	0	
地域とのつながり	0	0	0	0	
ケアマネ変更支援	1	1	0	0	
その他	0	0	0	0	
	※R4年度は推計値				
・支援に至った経緯					
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	
ケアマネ自身の問題	0	0	0	0	
対人援助技術	1	2	0	0	
支援の不足	1	1	0	0	
対象者の問題	0	0	1	1	
認知症による	0	0	0	0	
精神疾患による	0	0	1	1	
支援拒否	0	0	0	0	
不適切な要求	0	0	0	0	
気質・性格の問題	0	1	0	0	
ケアプラン作成過程	1	0	0	0	
多職種連携	0	0	0	0	
関連制度理解	1	0	1	1	
医療連携	0	1	0	0	
家族関係の問題	0	1	1	1	
事業所の問題	0	0	0	0	
サービス調整	1	0	0	0	
地域連携・社会資源	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
	※R4年度は推計値				
<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員が他機関の専門職や地域の支援者となつたり連携できる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員が連携会議に定期的・継続的に参加することで情報共有・課題共有し関係者となつたり連携する事ができた。 ・地域の支援者とのつながりは、個別のケースの検討を行う地域ケア会議に地域の支援者に参加いただくことでつながり連携する事ができた。 ・介護支援専門員に対する個別支援については、指示・指導ではなく介護支援専門員の立場にたつて一緒に考え介護支援専門員自らが支援の方向性を導き出せるよう意識して関わった。また、居宅事業所内においても管理者へ報告・相談するよう助言した。 ・介護支援専門員支援の参考に圏域の介護支援専門員にアンケートを実施したところ、支援の中で困難を感じる原因・理由としては、「家族の理解が得にくい」、「必要な介護・福祉サービスを拒否する」、「必要な医療を拒否する」が多く挙げられた。センターに期待する事としては、「社会資源の発掘開発」「事例検討会の開催」が多く挙げられた。困難ケースの相談状況について相談できる相手がいるかについては「他事業所の知り合い」「地域包括支援センター」「同僚」が多く挙げられた。これらを踏まえて介護支援専門員の支援の向上に繋げることとした。 ・上記評価から、地域で活動する介護支援専門員が連携会議に参加し他機関の専門職や地域の支援者となつたり連携する意識が一定程度定着しているため、目標は一部達成できたと評価する。目標が一部達成であることから次年度以降も連携できる取り組みを継続することとした。 					

令和5年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・介護支援専門員が他機関の専門職や地域の支援者とながり連携できる</p>	<p>・連携会議（戸井・恵山・楳法華・南茅部） ※「医師・看護師・薬局・東部保健事務所・行政支所・消防・駐在所・介護サービス事業所・居宅介護支援事業所」において隔月に開催する多職種連携・情報共有・地域連携など圏域の介護支援専門員と関係者がつながり・活動することへの意識づけを図る。また、地域の社会資源について情報提供したものを周知し情報提供する。</p> <p>・個別ケースの検討を行う地域ケア会議 ※対象となるケースがあった場合、地域ケア会議を通して、介護支援専門員が地域の支援者とながり連携ができるように開催する。</p>	<p>・連携会議数 ・個別支援数 ・終結数(率) ・対応方法 ・課題の背景</p>

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

事業内容	令和4年度 活動評価																									
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																								
包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築	<p>1. 合同ケアマネジメント研修開催状況</p> <p>① 開催日時 会場 1回目 令和4年10月12日 13時～16時 2回目 令和4年10月13日 14時～17時 会場 函館市亀田交流プラザ（講堂）</p> <p>・テーマ： ② 開催回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p> <p>③ 圏域の参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業所種別</th> <th rowspan="2">対象者数</th> <th colspan="2">参加者数</th> </tr> <tr> <th>1回目</th> <th>2回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護支援事業所</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">参加率（居宅） 100 %</p>		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	開催回数	2	2	2	2	事業所種別	対象者数	参加者数		1回目	2回目	居宅介護支援事業所	5人	3人	2人	合計	5人	3人	2人	<p>【活動目標】</p> <p>・介護支援専門員が本人や地域の強みを活かしたケアマネジメントが実践できるようになる。</p> <p>【評価】</p> <p>・合同ケアマネジメント研修については、コロナ禍における研修開催となり、従来の会場参加型と各事業所からZOOMによるウェブ研修と2通りの選択方式により開催となった。感染予防の観点や業務上等からZOOMを選択する参加者が多い傾向があった。圏域の居宅事業所については、2日開催及び会場・ZOOM選択方式により事業所全員100%参加した状況となっている。研修内容は①本人らしい生き方がわからないと自立支援にならない（アセスメントによりその人らしい生き方を理解する）②インフォーマルをケアプランに入れるのはナンセンスで本人の暮らしの中で介護を足すイメージである事。③本人の望む暮らしを明らかにしたものがケアプランであり、ケアプランは望む暮らしのためである事など多くの気づきが得られた研修となった。令和4年度の研修会では「本人の望む暮らしを実現するケアマネジメント」をテーマに利用者の自立支援に資するケアマネジメントについて学んだ。研修後のアンケートからも一定程度理解できているが実践まで至っていない状況である事から、利用者個々の思いを尊重し望む暮らしを実現するためには、利用者の日常生活や取り巻く環境、地域とのつながり等これまでの生活を深掘りし多角的に情報を得る必要がある。その情報を得るための入り口となる「インターク」は、その後の支援の運びに影響する大切な場面と言えるため、次年度はインタークの重要性や面談時における信頼関係の構築をテーマに研修会を開催する。</p>
		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																					
開催回数	2	2	2	2																						
事業所種別	対象者数	参加者数																								
		1回目	2回目																							
居宅介護支援事業所	5人	3人	2人																							
合計	5人	3人	2人																							
	<p>2. 圏域内ケアマネジメント研修開催状況</p> <p>①開催日時、会場 令和5年3月17日（金） 15時～16時30分 会場 函館市戸井支所2階第1会議室</p> <p>・テーマ 自立支援型の地域ケア会議模擬演習（事例検討） 「事例概要・基本情報・計画表・チェックリスト・興味関心チェックシート・ICF表により質問を考える」 「課題を踏まえた上で専門職から自立支援に資する支援について支援方法や対応策について提案・助言」</p> <p>・圏域の参加状況</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>参加事業所（圏域）</td> <td>居宅3、小規模多機能型1</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>連携状況</td> <td>訪問リハPTによる助言</td> </tr> </tbody> </table>	参加事業所（圏域）	居宅3、小規模多機能型1	参加者数	5人	連携状況	訪問リハPTによる助言																			
参加事業所（圏域）	居宅3、小規模多機能型1																									
参加者数	5人																									
連携状況	訪問リハPTによる助言																									

令和5年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・対象者及び家族の背景因子に着目し個々に寄り添った対人援助ができる。</p>	<p>○合同ケアマネジメント研修の開催（2回） 〈開催日〉 令和5年10月18日（水） 令和5年10月19日（木） 〈テーマ〉 信頼関係を構築できる面接方法を学ぶ 〈研修形態〉 講義・演習 〈内 容〉 例）・面接の基本姿勢・心構えを学ぶ ・インテークの重要性 ・利用者・家族の本当の思いを引き出すための面接技術</p> <p>○圏域内ケアマネジメント研修の開催（1回） 〈開催時期〉 令和6年1月以降 〈内 容〉 合同ケアマネジメント研修の振り返りアンケートの実施</p> <p>○圏域内ケアマネジメント研修のアンケート報告・課題、情報共有</p>	<p>・ケアマネジメント研修開催回数（多職種連携、主任介護支援専門員連携） ・参加数（率）</p>

(I) 地域ケア会議推進事業

【根拠法令】介護保険法第115条の48

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、地域ケア会議を開催し、介護サービスだけでなく、様々な社会資源が有機的に連携することができる環境を整備し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう支援を行う。

事業内容	令和4年度 活動評価																																	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																
個別ケースの検討を行う地域ケア会議	<p>○個別ケースの検討を行う地域ケア会議</p> <p>・開催状況 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標数値</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>66.7%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p> <p>・開催内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>地区</th> <th>ケース概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>恵山</td> <td>本人認知症状が見受けられ、同居の長男は脳腫瘍の既往があり、聴力低下、発語が不明瞭で世帯支援が必要なケース</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>戸井</td> <td>被害妄想による近隣とのトラブルがあり認知症疑いのあるも本人、長女より支援拒否のため、介入が困難なケース</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>恵山</td> <td>同居の息子が入院し、近隣や親族との交流がなく、緊急時の対応が行えないケース</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	目標数値	3	3	3	3	開催回数	2	3	3	3	達成率	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	開催月	地区	ケース概要	4月	恵山	本人認知症状が見受けられ、同居の長男は脳腫瘍の既往があり、聴力低下、発語が不明瞭で世帯支援が必要なケース	6月	戸井	被害妄想による近隣とのトラブルがあり認知症疑いのあるも本人、長女より支援拒否のため、介入が困難なケース	12月	恵山	同居の息子が入院し、近隣や親族との交流がなく、緊急時の対応が行えないケース	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者やその家族の課題について、地域と専門職、さらに自立相談支援機関と協働し支援内容を検討できる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携会議により多職種連携・情報共有・地域連携ができ関係者がつながり、ネットワークの構築ができ、関係者からの情報を得て個別ケースの検討を行う地域ケア会議へ展開し高齢者やその家族の課題について地域と専門職が協働し支援内容を検討する事ができた。 ・一つの世帯に高齢の親と障害のある子が生活する中で複数の課題が存在し複雑化・複合化した課題があるケースについては、センター高齢担当と自立相談支援担当が問題共有と協働するためエコマップ・ジェノグラムを用い、今後の生活について支援方針・役割分担を決め取り組む事ができた。今後もケース検討を積み重ねチームとして機能するためスキル向上を目指す。
		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																													
目標数値	3	3	3	3																														
開催回数	2	3	3	3																														
達成率	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%																														
開催月	地区	ケース概要																																
4月	恵山	本人認知症状が見受けられ、同居の長男は脳腫瘍の既往があり、聴力低下、発語が不明瞭で世帯支援が必要なケース																																
6月	戸井	被害妄想による近隣とのトラブルがあり認知症疑いのあるも本人、長女より支援拒否のため、介入が困難なケース																																
12月	恵山	同居の息子が入院し、近隣や親族との交流がなく、緊急時の対応が行えないケース																																
自立支援型地域ケア会議	<p>○自立支援型地域ケア会議</p> <p>開催日時、会場 令和5年1月26日（木） 14時～16時 会場 総合保健センター2階健康教育室 事例提供者：中村弘子（地域包括支援センター社協）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員等がリハビリテーション専門職及び栄養士等の専門職と連携し身体的自立に着目したケース検討を行い、他の専門職よりアドバイス・助言をいただいたことで新たな気づきを得る事ができた。 ・次年度以降も高齢者やその家族の抱える課題について、地域と専門職、自立相談支援担当などと協働し支援内容を検討して参りたい。 																																

令和5年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・高齢者やその家族の課題について、地域と専門職、さらに自立相談支援機関と協働し支援内容を検討できる。</p>	<p>○地域の関係者から個別ケースを情報収集するためのネットワーク構築</p> <p>○連携会議の開催。</p> <p>※隔月開催</p> <p>・偶数月～戸井地区（クリニック、薬局、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所）</p> <p>・偶数月～恵山地区（恵山病院、消防署、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所）</p> <p>・奇数月～椴法華地区（クリニック、消防署、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所）</p> <p>・奇数月～南茅部地区（南茅部病院、薬局2か所、駐在所、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所）</p> <p>○個別ケースをセンター内で共有・協議し地域ケア会議の必要性検討及び事例の方向性を検討、また自立支援相談機関と協働及び役割分担しチームで支援内容を検討する。</p> <p>○個別ケースの検討を行う地域ケア会議の開催 年3回開催（ケース相談に応じ随時開催）</p> <p>○自立支援型地域ケア会議の参加、高齢者の身体的自立に着目し地域と専門職が協働し支援内容の検討を行う。</p>	<p>・開催回数・計画達成率</p> <p>・ケースの概要</p>

(I) 地域ケア会議推進事業

事業内容	令和4年度 活動評価																																												
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																											
地域課題の検討を行う地域ケア会議	<p>○地域課題の検討を行う地域ケア会議</p> <p>・開催状況 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標数値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p> <p>・テーマおよび主な参加機関 令和4年10月28日（金） 榎法華総合福祉センター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <td>支え合いの地域づくり（第1回目）</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>参加機関</th> <td>町内会・民生委員・漁協婦人部・小中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和5年2月28日（火） 榎法華総合福祉センター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <td>支え合いの地域づくり（第2回目）</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>参加機関</th> <td>町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所</td> </tr> </tbody> </table> <p>・明確になった地域課題 住み慣れた地域で暮らし続けられるよう互いに支え合い人と人がつながり、また、関係機関等がつながる地域づくりの意識を啓発する</p> <p>・地域の強み 自然の多さ。人口が少ないが他地域より人のつながりがある。コンパクトにまとまったコミュニティ。福祉拠点施設に情報が入る。学校と地域のつながりやすさ。</p> <p>・地域の弱み 人口減少。漁業の衰退。交通機関が不便。商店・コンビニがない。空き家問題。入院施設がない。病院への移動手段がない。</p> <p>○戸井地区「さわやか潮風ウォーキング」の開催 令和4年6月4日（土） 令和4年10月29日（土）</p> <p>○地域ケア会議にかかる広報・啓発活動</p> <p style="text-align: right;">(回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ケア会議</td> <td>33</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>地域の見守り</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p>		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	目標数値	2	2	2	2	開催回数	2	2	2	2	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	テーマ	支え合いの地域づくり（第1回目）	参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・小中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所		支え合いの地域づくり（第2回目）	参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	地域ケア会議	33	1	12	20	地域の見守り	1	2	5	6	<p>【活動目標】</p> <p>・榎法華地域において現状把握と課題整理、地域アンケートを実施する。</p> <p>【評価】</p> <p>・地域住民・関係機関などと地域の現状と地域の問題と問題が生じている要因を地域アンケート及び地域の強み・弱みの話し合い内容により分析した。地域の問題として3つあげられ、①買い物・専門医療機関への病院受診・地域内移動など移動手段の確保ができない。②くらしの困りごとに対する地域活動の担い手不足。③放置空き家の老朽化による倒壊・景観悪化・放火・不審者による治安悪化などの空き家問題があげられた。グループワークで検討した移動手段の確保の問題は、地域住民自身による支え合いでは困難であり、政策的課題であるため地域が抱える問題を理解していただくため声をどこに届け課題解決に向けて誰とどう取り組むか、また、生活ニーズに即した新たな移動手段の仕組み作りや専門医療機関については旧市内の病院に受診するのではなく、地域の医療機関に機能拡充することで解決するなどの意見があった。くらしの困りごとに対する地域活動の担い手不足は、地域の支え合い活動へ参加する方々が限られ、地域のマンパワーを掘り起こす取り組みが必要であること。空き家問題は、住宅所有者に対する適切な管理ができるよう意識啓発が必要であることなど課題を共有した。目標に対して現状把握・課題整理し地域アンケートを実施し分析する事ができたため目標が達成できた。次年度は抽出された課題に対して必要な支え合いについて地域住民・関係機関等の情報共有・関係者がつながり連携協働できるか検討する事とした。</p> <p>【活動目標】</p> <p>・支え合いの地域づくりや地域の見守りなどについて、地域住民の理解者が増える。</p> <p>【評価】</p> <p>・広報紙を通じて地域ケア会議の取り組み記事を掲載し全戸配布し地域住民の幅広い層に周知する事ができた。出前講座等で支え合いや見守りについて伝えると理解はされ、活動もされているため、目標は達成できた。次年度は、支え合いや地域の見守りの必要性を知ることができるとする。</p>
		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																																								
	目標数値	2	2	2	2																																								
	開催回数	2	2	2	2																																								
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%																																								
	テーマ	支え合いの地域づくり（第1回目）																																											
	参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・小中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所																																											
		支え合いの地域づくり（第2回目）																																											
	参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所																																											
		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																																								
地域ケア会議	33	1	12	20																																									
地域の見守り	1	2	5	6																																									

令和5年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・地域住民・関係機関等の情報共有・関係者がつながり・連携・協働を図ることができる。</p>	<p>○地域課題の検討を行う地域ケア会議（支え合いの地域づくりのつどい）を開催し地域の現状と課題を確認・共有し各地域において抽出された課題について住民自身が課題解決に向けて可能な取り組みを検討する。</p> <p>新たな取り組みの創出だけでなく、地域で既に取り組まれている活動等に光を当て地域の良さを再確認する。また、地域づくりのためには、より多くの住民が地域づくりに参加し、お互いが協力し合い地域のつながりを深めて行く事が重要と考え地域に愛着を持ってもらうよう意識啓発をする。</p> <p>（到達目標） 地域住民と関係機関が圏域内の地域課題を共有し、地域づくりや地域に必要なと考えられる資源開発などにより地域課題を解決するための社会基盤づくりが行える。</p> <p>（対象地区） 檜法華地区</p> <p>（開催内容） 現状把握と課題整理・地域アンケート実施・必要な支え合いの検討 計4回開催</p> <p>（開催時期）※2カ年にわたり実施予定 第1回目/令和4年10月開催（令和4年度） 第2回目/令和5年2月開催（令和4年度） 第3回目/令和5年6月開催（令和5年度） 第4回目/令和5年10月開催（令和5年度）</p>	<p>・開催回数・計画達成率 ・検討内容</p>
<p>・支え合いの地域づくりや地域の見守りの必要性を知ることができる。</p>	<p>○支え合いの地域づくりや地域の見守りについて周知を行う。</p> <p>○社協各支所が実施する事業やサロン等の場を積極的に活用し出前講座や講師派遣を行うことで効果的に周知する。</p> <p>○広報紙に地域ケア会議の記事を掲載し地域住民の広い層に周知を図る。</p>	<p>・地域ケア会議にかかる広報・啓発回数 ・地域の見守りにかかる広報・啓発回数</p>

イ 生活支援体制整備事業

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第5号

【目的】地域における住民主体の助け合い活動を促進する仕組みおよび高齢者の社会参加を促進する仕組みの創出ならびに充実を行う。

事業内容	令和4年度 活動評価												
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価											
地域のネットワーク構築 第2層生活支援コーディネーター活動	○地域のネットワーク構築	【活動目標】 ・ 楡法華地域のネットワーク構築関係機関の新規開拓及び関係機関等との情報共有・連携・協働を図りネットワーク構築を継続する。 【評価】 ・ 楡法華地域の第2層協議体（地域ケア会議）「支え合いの地域づくりの集い」の開催を通じて地域住民・関係機関などの情報共有・地域の現状と地域の問題・問題が生じている要因を地域アンケート及び地域の強み・弱みの話し合い内容により分析し情報共有できたが、連携・協働に至っていないため、目標は一部達成した。次年度は、支え合いの地域づくりの集いを通じ話し合いをすることで関係者がつながり連携・協働を意識を高めることとなるため継続し開催することとした。 ・ 楡法華地域のネットワーク構築関係機関の新規開拓としては小学校・中学校に参加協力をいただき、各校長の集いへの参加、学校の現状と課題や意見交換、また、児童生徒には地域アンケートへの協力をいただいた。 ・ 戸井地区「さわやか潮風ウォーキング」については、地域課題である体力や筋力の維持について関心がある事を受け、いつでもどこでもだれで行う事ができるウォーキングを推奨・啓発し、ウォーキングで屋外に出ることで人と関わる機会が増えたり交友関係が広がったり地域活動への関心・意欲向上へのきっかけ作りの一助となった。											
	・ ネットワーク構築機関数（R4.12）（機関）												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名</th> <th>機関数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生児童委員協議会（方面）</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>町会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	機関名	機関数	民生児童委員協議会（方面）	1	町会	2	在宅福祉委員会	1	介護サービス事業所	12		
	機関名	機関数											
	民生児童委員協議会（方面）	1											
	町会	2											
	在宅福祉委員会	1											
	介護サービス事業所	12											
	・ ネットワーク構築回数（R4.12）（回）												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>懇談会（開催・参加）</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>民生児童委員協議会定例会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>地域密着運営推進会議</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会定例会</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>保健医療福祉連携会議</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	種別	回数	懇談会（開催・参加）	0	民生児童委員協議会定例会	1	地域密着運営推進会議	8	在宅福祉委員会定例会	4	保健医療福祉連携会議	15
種別	回数												
懇談会（開催・参加）	0												
民生児童委員協議会定例会	1												
地域密着運営推進会議	8												
在宅福祉委員会定例会	4												
保健医療福祉連携会議	15												
○第2層協議体													
・ 開催状況（回）													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	開催回数	2	2	2	2			
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度									
開催回数	2	2	2	2									
・ テーマおよび主な参加機関 令和4年10月28日（金） 楡法華総合福祉センター													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>支え合いの地域づくり（第1回目）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加機関</td> <td>町内会・民生委員・漁協婦人部・小中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	支え合いの地域づくり（第1回目）	参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・小中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所									
テーマ	支え合いの地域づくり（第1回目）												
参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・小中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所												
令和5年2月28日（火） 楡法華総合福祉センター													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>支え合いの地域づくり（第2回目）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加機関</td> <td>町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	支え合いの地域づくり（第2回目）	参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所									
テーマ	支え合いの地域づくり（第2回目）												
参加機関	町内会・民生委員・漁協婦人部・中学校・居宅・介護サービス事業所・行政支所・東部保健事務所・社協支所												
○明確になった地域課題													
<p>（ 住み慣れた地域で暮らし続けられるよう互いに支え合い人と人とがつながり、また、関係機関等がつながる地域づくりの意識を啓発する ）</p>	【活動目標】 ・ 支え合いの地域づくりや地域の見守りなどについて、地域住民の幅広い層に周知することができる。 【評価】 ・ 広報紙を通じて取り組み記事を掲載し戸井地区・恵山地区・楡法華地区・南茅部地区へ全戸配布し地域住民の幅広い層に周知する事ができたため目標は達成できたと評価する。地域住民が理解し取り組むことが必要である事から、住民主体の助け合い活動の普及啓発で取り組むこととする。												
○戸井地区「さわやか潮風ウォーキング」の開催 令和4年6月4日（土） 令和4年10月24日（土）													

令和5年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・楨法華地域のネットワーク構築関係機関との情報共有・連携・協働を図りネットワーク構築を継続する。</p>	<p>(目的)</p> <p>生活支援サービスを担う多様な関係者等と連携し多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図る</p> <p>○楨法華地域にて開催する第2層協議体（地域ケア会議）「支え合いの地域づくりの集い」において、地域課題やその解決に向けた取り組み、地域住民が目指す地域のあり方について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係職種団体への協力依頼等の働きかけ ・地域のニーズと資源の見える化・問題提起 <p>(開催内容)</p> <p>現状把握と課題整理・地域アンケート実施・必要な支え合いの検討計4回開催</p> <p>(開催時期) ※2カ年にわたり実施予定</p> <p>第1回目/令和4年10月開催(令和4年度)</p> <p>第2回目/令和5年2月開催(令和4年度)</p> <p>第3回目/令和5年6月開催(令和5年度)</p> <p>第4回目/令和5年10月開催(令和5年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク構築回数 ・ネットワーク構築機関

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

事業内容	令和4年度 活動評価																					
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																				
<p>第2層生活支援 コーディネーター 活動</p> <p>住民主体の助け合 い活動等の重要性 についての普及啓 発</p>	<p>○自主グループへの支援</p> <p>①若々体操の会活動支援 2回 { ボランティアリーダーが中心となり、毎週活動で きており、会場の確保や年度活動の予定表作成等 を支援しながら自主活動支援を行った。 }</p> <p>②汐首町会 汐首わくわくサロン活動支援 4回 { サロンリーダーが中心となり、月1回の活動が実 施できており、定期的に介入することで活動状況 の確認や実施内容についての支援し、自主活動支 援を行った。 }</p> <p>○地域の支えあいや介護予防にかかる広報・啓発活動</p> <p>・開催回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防</td> <td>14</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>地域の見守り</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>社会資源</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※R4年度は推計値</p> <p>・出前講座・講師派遣の依頼機関 社協恵山支所</p>		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	介護予防	14	7	1	3	地域の見守り	1	2	5	6	社会資源	0	1	1	1	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主活動グループが継続して活動が行える。 <p>【評 価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若々体操の会、汐首わくわくサロンについては、リーダーが中心となり自主活動が行えるようになっているため、目標は達成できた。今後については、センターとして積極的な支援は必要ないものの、会場の確保や実施内容等への助言、実施状況の把握を継続することで自主活動が継続できると考えるため、次年度以降も同様の目標で支援していくこととしたい。 ・戸井地区浜町運動教室、恵山地区元気ハツラツ日ノ浜教室、元気ハツラツ恵山教室については、各リーダーが問題なく運営できており、積極的な支援は必要ないことから出前講座等で活動状況の確認や情報提供を行い支援していくこととしたい。 <p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が地域の支え合いや介護予防について知ることができる。 <p>【評 価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・椋法華地区にて支え合いの地域づくりについて第2層協議体を実施し啓発を行ったが、出前講座等での広報啓発活動については、新型コロナ感染の影響により、広報啓発の機会が少なく、地域住民への周知としては不十分であったと評価する。目標として達成できていないことから次年度も同様の目標で対応することとしたい。
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																		
介護予防	14	7	1	3																		
地域の見守り	1	2	5	6																		
社会資源	0	1	1	1																		

令和5年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・自主活動グループが継続して活動が行える。</p>	<p>○自主活動グループに対する活動継続支援（出前講座含む） （戸井地区） ・若々体操の会 ・汐首わくわくサロン ・浜町運動教室 （恵山地区） ・元気ハツラツ日ノ浜教室 ・元気ハツラツ恵山教室</p>	<p>・活動支援回数 ・栄養教室開催回数 ・出前講座回数</p>
<p>・地域住民が地域の支え合いや介護予防について知ることができる。</p>	<p>○介護予防への取り組みとして社会資源マップを活用し広報・啓発することで他地域での活動の様子を情報共有と介護予防への意識助長を図る。</p> <p>○地域の支え合いや介護予防について町内会・民生児童委員協議会・在宅福祉委員会・老人クラブ・地域ケア会議・出前講座・外部主催研修・自主活動グループ等に広報紙・リーフレット・パンフレットを配布し普及啓発を図る。</p> <p>○戸井地区「さわやか潮風ウォーキング」事業の実施 ・戸井地区第2層協議体（地域ケア会議）「支え合いの地域づくりの集い」の実施結果から、地域ぐるみで体力や筋力の維持・健康に関心を持ち、人と関わる機会が増えたり、交友関係が広がったり、地域活動への関心・意欲へのきっかけ作りの啓発（春・秋）年2回実地 通算3カ年実施予定（初年度は令和7年度実施）</p>	<p>・地域ケア会議にかかる広報・啓発回数 ・地域の見守りにかかる広報・啓発回数</p>

ウ 認知症総合支援事業

(ア) 認知症地域支援・ケア向上事業

【根拠法令】 介護保険法第115条の45第2項第6号

【目的】 認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症地域支援推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

事業内容	令和4年度 活動評価																					
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																				
認知症初期集中支援推進事業	<p>1. 認知症初期集中支援チームとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事例実績なし ・チーム員会議への出席は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、担当センター以外参集なし <p>○認知症に関する相談内容内訳（延・重複あり） (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症</td> <td>17</td> <td>35</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p> <p>○認知症に関する広報啓発 (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.12末</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症広報啓発</td> <td>19</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R4年度は推計値</p>		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	認知症	17	35	11	15		R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度	認知症広報啓発	19	2	11	28	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人や家族に早期に関わり対応が行える。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チームのケース対応はなかったが、総合相談により認知症について対応を行い早期に対応できたため、目標達成したと評価する。認知症初期支援チームでの対応ケースがあれば、対象として検討するが、総合相談で対応できる場合、これまで同様の対応を実施することとし、同様の目標で取り組むこととしたい。
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																		
認知症	17	35	11	15																		
	R2年度	R3年度	R4.12末	R4年度																		
認知症広報啓発	19	2	11	28																		
認知症地域支援・ケア向上事業	<p>2. 認知症サポーター養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月21日：えさん小学校 5・6年生向けに実施 16名 （座学のほか、ロールプレイを通して認知症の方への接し方を実施） ・令和4年10月24日：恵山中学校 2年生向けに実施 10名 （座学のほか、ロールプレイを通して認知症の方への接し方や高齢者の疑似体験を実施） <p>3. 認知症地域支援推進員連絡会参加</p> <p>第1回 令和4年4月28日 参加 第2回 令和4年8月30日 参加 第3回 令和5年2月21日 参加</p> <p>4. 認知症ケアパス普及に関して（配布先）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南茅部老人クラブ大船、尾札部、川汲、安浦、白尻、古部、木直、えさん小学校、恵山中学校、認知症カフェとい茶屋、 <p>5. 認知症カフェの開催</p> <p>日時：令和5年3月6日（月）、10：30～11：30 場所：通所介護事業所 とい 参加者数：15名 講師：道南圏域在宅歯科連携室 杉本氏、高田氏 主催：たんぼぼの会、協力：地域包括支援センター社協</p>	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を支える若い世代が認知症に関する理解を深めることができる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標達成にむけ、えさん小学校、恵山中学校の生徒へ認知症サポーター養成講座を実施した。恵山中学校については、初めての取り組みであったが、次年度以降も実施する意向を確認できている。目標として達成できたが継続的な対応が必要であることから、次年度も同様の目標とし、新たに開催できる学校を開拓することとしたい。 <p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人やその家族が集い情報共有や支え合いが行える。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェを年2回開催の予定をしていたが、新型コロナウイルス感染の影響で1回のみ開催であったが、令和3年度未実施だったこともあり参加者からは継続的に認知症カフェを開催してほしい意見があり、目標は一部達成できたと評価する。今後もたんぼぼの会と相談しながら継続開催できるように支援を行っていくこととしたい。また、目標としても継続した目標で取り組むこととしたい。 																				

(ア) 認知症地域支援・ケア向上事業

事業内容	令和4年度 活動評価	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
認知症地域支援・ ケア向上事業	<p>6. 多職種研修会開催の企画・準備 打ち合わせ会議:令和4年10月31日</p> <p>・令和5年1月26日 令和4年度認知症カフェ運営者のつどい開催</p> <p>7. 認知症地域支援推進員研修および認知症に関する研修会への参加（その他）</p> <p>・令和4年9月21日 世界アルツハイマーデー2022inはこだて開催協力</p> <p>・令和4年10月25日～令和4年10月26日 認知症地域支援推進員研修（現任）参加</p> <p>・令和5年1月19日 令和4年度北海道チームオレンジコーディネーター研修参加</p> <p>・令和4年度認知症地域支援推進員ネットワーク会議 R4.12.13（火） オンライン ・令和4年度「認知症地域支援体制推進全国合同セミナー」 R5.1.20（金） オンライン</p>	<p>【活動目標】</p> <p>・認知症ケアについて多職種と協働で支援が行える。</p> <p>【評 価】</p> <p>・認知症カフェ運営者のつどいの開催や2022アルツハイマー月間inはこだての開催を通して多職種と協働で開催し支援への理解を深めることができたと評価する。目標については、継続的に取り組む必要があることから次年度も同様の目標で取り組み、新たな取り組みとしては、2025年チームオレンジ立ち上げに向けてキャラバンメイトのステップアップ講座について検討することとしたい。</p> <p>【活動目標】</p> <p>・各種研修を受講することで認知症地域支援推進員として新たな知識を習得し、対応が行える。</p> <p>【評 価】</p> <p>・認知症地域支援推進員として新たな知識を習得できるように各種研修を受講できた。新型コロナの影響でオンラインでの開催が主であったが全国の認知症推進員の取り組み状況について把握できたことは新たな知識の習得としての機会となり、目標について概ね達成できたと評価する。ただし、研修で得た情報をもとに担当圏域で活用するには地域の特性上困難であることから次年度以降も新たな知識を習得し地域で活用できる取り組みを検討することとしたい。</p>

令和5年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・認知症ケアについて多職種と協働で支援が行える。 (認知症地域支援推進員の活動)</p> <p>・各種研修を受講することで認知症地域支援推進員として新たな知識を習得し、対応が行える。 (認知症地域支援推進員としての活動)</p>	<p>○多職種研修会開催の企画・準備 ・開催に向けての打ち合わせ、協力</p> <p>○2025年チームオレンジ立ち上げ準備 ・キャラバンメイトのステップアップ講座について検討</p> <p>○認知症カフェフォーラム開催の企画・準備 ・開催に向けての打ち合わせ、協力</p> <p>○認知症地域支援推進員研修および認知症に関する研修会への参加 ・その他認知症に関する研修会へ参加</p>	<p>・研修開催の企画・準備の回数</p> <p>・研修会への参加回数</p>